

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年第 3 回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
1	太田 富雄 (一括)	1 公共交通について	当市は、公共交通空白地の解消のために、今年 1 月末より千代川地区を回る定時定路線型運行及び国道 125 号線より南側をオンデマンド型運行を開始してから約 8 か月になります。 (1) 利用者数の推移を伺います。 (2) 利用者数増加への取組について伺います。 (3) オンデマンド型運行の時間帯の変更は可能か伺います。 (4) シモンちゃんバスが道の駅しもつまを回るルートへの変更は可能か伺います。	市 長 関係部長
		2 小学生の登下校時における熱中症対策について	例年にない猛暑が続く中、7 月 21 日に大子町で 38.7℃、7 月 29 日には古河市で 38.8℃など、複数地点で 38℃超えを記録しています。夏休み明けの 9 月においても、日本気象協会によると、気温は全国的に平年より高く、関東では「警戒」レベルとなる見込みです。とりわけ日中の最も気温の高い時間帯となる下校時における熱中症のリスクが高まっております。 (1) 児童の最大通学時間及び平均時間を伺います。 (2) 熱中症対策として、日傘、ネッククーラー、クールタオルの活用割合を伺います。	市 長 教 育 長 関係部長
2	安田 歩 (一括)	1 図書館エリアを中心とした「一日過ごせるまちづくり」について	(1) 図書館エリアを中心とした「一日過ごせるまちづくり」を求める。	市 長 教 育 長 関係部長

一般質問通告書

令和7年第3回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
			(2) 未使用となっている屋外南側れんが部分の活用、遊び場や飲食可能スペースの整備を検討できないか。 (3) これまで利用が少なかった層も訪れたいような図書館の在り方を見直し、多世代の交流・人材育成につながるモデル形成を目指せないか。	
		2 一元化された「市内イベントカレンダー」及び「子育て支援カレンダー」の作成について	(1) 現在、市内イベント情報はばらばらに発信されている。D Xを活用した入力・共有の仕組みを導入し、市ホームページに一元化した「市内イベントカレンダー」を整備できないか。市民が休日の出かけ先を決める際に一目でイベントが把握できる仕組みがつかれないか。 (2) 子育て関連イベントも健康づくり課、子育て支援課、図書館、社協などが別々に周知している。これらを集約した「子育て支援カレンダー」を整備し、子育て世帯が利用しやすい環境をつくれないか。	市長 関係部長
3	塚越 節 (一問一答)	1 「下妻市人口ビジョン・デジタル田園都市国家構想総合戦略」に関する総合的質問	(1) 下妻市総人口は、2000 年をピークに減少。下妻市人口ビジョンの策定方針意図を説明願いたい。 (2) 国の方針との整合性。または下妻市としての特徴的な部分があれば。 (3) 人口の将来展望。自然増減と社会増減、それぞれの言葉の意味は。[15 ページ]	市長 関係部長

一般質問通告書

令和7年第3回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
			(4) 合計特殊出生率の言葉の意味は。2020年1.33、これを2050年に人口置換水準の2.07を目指す。その意図するところは。[16 ページ] (5) 自然増減による将来人口推計結果、合計特殊出生率2.07を達成できて、それでも2050年下妻市総人口は32,790人に減少。そう理解していいか。[16 ページ] (6) 初婚年齢と出生数に相関関係があるのか。[19 ページ] (7) アンケートに見る「理想の子ども数」、その意味するものは。[18 ページ] (8) 社会増減における、19～39歳の転出者28.2%抑制に関するプランは。[24 ページ] (9) 一人当たりの下妻市における市民所得と工業製造品出荷額の関係について説明せよ。[30 ページ] (10) 2050年自然増減・社会増減＋市民所得の拡大による新たな流入を加えた、将来下妻市人口推計を35,873人にしたことについて説明せよ。[31 ページ] (11) 2021年～2024年にかけての外国人の転入転出ともの増加をどのように分析するか。また、国籍の割合は。[4 ページ] (12) 本年6月時点、下妻市人口における住民登録された外国人比8%、近年毎年1%ずつの上昇。どこまで伸びると分析するか。	

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年第 3 回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
			(13) 農業における人手不足、医療・福祉分野の担い手不足、また新工業団地の増設に伴う外国人労働力は必要不可欠と考えるがいかがか。[14 ページ] (14) 多文化共生を担当する全庁横断的部局が必要と考えるが現状と将来展望は。 ※文中のページ番号は、令和 7 年 3 月策定の「下妻市人口ビジョン・デジタル田園都市国家構想総合戦略」を指す。	
4	宇梶 浩太 (一括)	1 市内の工業団地等に係る固定資産税の課税免除措置について	(1) 稼働を始めた新しい工場の固定資産税の課税免除について、その概要といつまで続くのか期間等について、改めて整理したところを説明願いたい。 (2) 企業誘致により国からの普通交付税が減額され、また本来入ってくるはずの市の固定資産税が期間限定で免除される中、基金等の取崩しにより財政への影響を抑えてきたと思いますが、その内容を問う。	市 長 関係部長
		2 市内の新規誘致企業が建築した工場の固定資産税の課税免除期間が終了した後のビジョンについて	(1) 企業からの固定資産税の収入が増えた後、それをどう活用していくのか、計画についてお聞かせください。	市 長 関係部長
5	岡田 正美 (一括)	1 リチウムイオン電池等火災対策やごみ処理施策全般及びごみ対策や啓発について	(1) リチウムイオン電池等が原因のごみ焼却場の火災対策、ごみ袋の多種類化や分別収集など、ごみ処理施策全般について何う。	市 長 関係部長

一般質問通告書

令和7年第3回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
			(2) ごみのポイ捨てを減らし、粗大ごみの不法投棄なども防止しなければならない。これらの施策や対策について伺い、「ごみのポイ捨て等防止条例」制定の考えはないか。そして、市民協働のまちづくりや教育行政など様々なことと絡ませて（自治会活動、生涯学習などと関連させて啓発すること）施策の向上を図る考えはないか。また、増加する外国人に対してのごみ問題啓発をどのように行っていくのか伺う。	
6	平井 誠 (一括)	1 子育て世帯支援策の拡充について	(1) 出産祝金の増額について (2) 入学祝金の新設について (3) 学校給食費無料化を小学校にも拡大すること (4) 子育て世帯の支援策拡充で下妻市の人口増につなげて	市 長 教 育 長 関係部長
		2 猛暑対策と物価高騰対策について	(1) エアコン購入と設置費用に助成を求めることについて (2) 下妻市独自の物価高騰対策について	市 長 関係部長
		3 下妻市役所職員の待遇改善を求めて	(1) 正職員と非正規職員の給与の引上げを求めます。 (2) 正職員を増やして、市民生活を守る体制を求めます。	市 長 関係部長
7	原部 司 (一括)	1 高齢者支援について	(1) 本市の高齢者人口の現状と高齢化の課題について (2) 認知症施策推進基本計画に基づく市の取組について	市 長 関係部長

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年第 3 回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
			(3) 高齢化対策に充当する予算はどのように確保するのか、その優先順位について	
		2 中学校部活動の 地域展開について	(1) 指導者の募集方法について (2) 登録した指導者の研修について (3) 市民や保護者にはどのように情報を発信しているのか。	教 育 長 関係部長
8	鈴木 牧 (一問一答)	1 下妻市公民連携 まちづくり構想 砂沼戦略の現状 と課題	(1) 若者・女性の流出について、どのような施策を行ってきたのか伺う。 (2) 砂沼の水辺空間の活用について、どのような施策を行ってきたのか伺う。 (3) 筑波サーキットの活用について、どのような施策を行ってきたのか伺う。 (4) 旧テイセン産業跡地について伺う。 (5) 将来ビジョン達成のための進捗状況と今後について伺う。 (6) 環境アクションプランのうちの、砂沼アクションプランの振り返りと進捗状況について伺う。 (7) 江連八間土地改良区との協力体制について伺う。 (8) 下妻市都市公園管理条例の改正の進捗状況について伺う。	市 長 関係部長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年第3回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
9	端 茂樹 (一問一答)	1 ビアスパークし もつま指定管理 について	ビアスパークしもつまはもともと第三セクターである「株式会社ふれあい下妻」によって運営されていました。令和元年から民間企業を指定管理者に指定する形となりました。本市の見解を伺う。 (1) 指定管理者制度導入について ①指定管理者による運営成果と評価は。 ②地域経済への波及効果についての分析は。 (2) 施設の現状と課題について ①コロナ禍以降の利用者数の回復状況は。 ②利用者層に変化はあるか。 ③現時点での最大の課題は何と認識しているか。 (3) 地域との連携について ①地元農産物や市内業者の活用状況はどうか。 ②観光資源やイベントとの連携による相乗効果は。 ③地域振興の拠点としての役割を果たしているか。 (4) 財政面について ①指定管理料の水準と市の負担は適正か。 ②累積赤字や経営難が生じた場合、市の対応は。	市 長 関係部長

一般質問通告書

令和7年第3回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
			③今後の経営の持続可能性について、市の見解は。 (5) 次期指定管理の方向性について ①次期指定管理者の選定に当たり、評価基準は。 ②地元事業者やNPOの参画を可能とする仕組みは。 ③民間活力の活用と市の関与の在り方は。	
10	斯波 元気 (一問一答)	1 教育現場からの 声を受けての質問	(1) 勤務時間、休憩時間、時間外勤務及び休暇に関することについて ①業務削減の考えと取組 ②業務削減の実施 ③勤務時間と登校時間の不一致 ④人による仕事量の差 (2) 定数に関することについて ①制度の全体像 (3) 研究や論文などについて ①任意の取組とすることはできないのか。 (4) エアコンの設置状況について ①現状の確認 (5) 小・中学校統廃合について ①生徒保護者の声、教職員の声、地域の声は、どのようなものが上がってきているか。	教 育 長 関係部長

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年第 3 回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
			②統廃合が進んだ場合の現職教員の雇用	
11	木村 穂摘 (一括)	1 全天候型の子供の遊び場整備について	子育て世代の皆様から、下妻市には天候の悪い日でも子供が安心して遊べる施設がない、という切実なご意見を多数いただいております。子供たちが季節や天候に左右されず健やかに成長できる環境を整えるとともに、子育て世代の孤立を防ぎ、交流を促すため、以下の 2 点について伺います。 (1) 下妻市には、多くの公園や屋外施設が存在し、子供たちの遊び場として利用されています。しかし、雨の日や酷暑、厳寒の時期などの悪天候時には、これらの施設を十分に活用することができません。このような状況において、市内の子供たちが自由に体を動かせる屋内施設は、現状としてどのようなものが存在し、どのように利用されているのでしょうか。また、既存の施設における課題や、利用者のニーズをどのように把握されているか伺います。 (2) 天候に左右されずに利用できる全天候型の子供の遊び場を新たに整備する考えはあるか伺います。	市 長 関係部長
12	浅野 通生 (一問一答)	1 本市の道路の安全と維持管理について	(1) 道路の陥没や空洞化の有無、実態調査について (2) 地盤の状態把握はどのようにしているか伺う。 (3) 交通量の調査と迂回路の点検について	市 長 関係部長

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年第 3 回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
			(4) 道路管理者の定期的な点検・調査方法について	
13	野村 貴博 (一問一答)	1 下妻市立小中学校適正規模適正配置基本計画(案)について	(1) 学校再編(統廃合や再配置など)を計画、決定、進行するに当たっての検討すべき要素の確認。 (2) 意向調査(市民・保護者アンケート)の結果について ①市民全体の結果と学区別の結果の確認 ②意向調査、市民説明会、意見公募の結果の確認 (3) 学校再編時の子供たちへのケアの具体案について	教 育 長 関係部長